

インターネットと上手に付き合うために ～家庭のルールで安全・安心に～

インターネットは、お子さんにとっても、日常生活には欠かせない便利なものです。

- 場所や時間を問わず、自ら様々なことを調べることができます。
- 世界中の様々な情報を得ることができます。
- 学習に関わる動画やコンテンツ等が豊富であり、自分のペースで学習することができます。
- メール、SNS等を通じて、様々な人と関わることができます。



インターネットに ふれる時間が 増えると・・・

お子さんへの影響が心配です

令和6年度 全国学力・学習状況調査より
(福島市立小・中学校 児童生徒)

生活面で



「ネット依存」により、生活のリズムが乱れたり、気持ちが不安定になったりする可能性があります。

- 睡眠不足となり、次の日の学校生活等に支障が生じます。
- イライラしやすくなったり、他のことに対して無気力になったりします。

様々なトラブル等に巻き込まれる可能性が増え、心の不安が増します。

- SNSによる人間関係のトラブル
- 詐欺・なりすましメール等の被害
- オンラインゲーム等への課金
- フェイクニュースからの悪影響
- 有害サイトへのアクセスによるトラブル



視力が低下しやすくなります。

- スマートフォン等の画面からの距離
- 画面の明るさの調整

学習面で

1日当たりのSNSや動画視聴時間が長い児童生徒ほど、全国学力・学習状況調査において、国語科、算数・数学科の平均正答率が低い結果となっています。

『普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴している』児童生徒の割合は、

小学6年生が33.6%、中学3年生が48.2%となっています。

『スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人との約束を守っているか』の質問に対して「守っている」「だいたい守っている」と回答した児童生徒の割合は、

小学6年生が69.8%、中学3年生が73.2%

『約束はない』と回答した児童生徒の割合は、

小学6年生が10.1%、中学3年生が16.5%

であることが明らかになっています。

インターネットに関わる調査結果はこちらから



インターネットと上手に付き合うために



① 子どもと一緒にルールを決めましょう

時間と場所を決める

- 使用時間と終了時刻を設定する。
- 使ってはいけない状況を明確にする。
- 家族の目の届くリビングなどで使用する。

生活リズム等の変化に合わせて定期的にルールを見直しましょう

ネットにふれない時間をつくる
～ノーメディアデー～

- スポーツや外遊びを楽しむ。
- 家族団らんの時間をつくる。
- 読書をする。 など

メールやSNSのマナーを確かめる

- 個人情報は書き込まないようにする。
- 許可なく、写真をネットにあげないようにする。
- 相手のことを考えて、言葉を選ぶようにする。

もし、ルールを守れなかった時にはどうするか、確認しておきましょう

機器を使用する目的や機器の機能を確認する

- その機器でどのようなことができるのか確かめる。
- 有害サイト・使用時間等についてのフィルタリング機能を活用する。



② 家族で一緒にルールを守りましょう

福島市から配付しているタブレットは、**学習用**です。

お子さんが、インターネットのメリット・デメリットを理解し、よりよい使い方を自分で考え、自分で判断できるようになるために、家庭で話し合い、見守ってください。